

広報かねやま

KANEYAMA

寿大学

金山モルック大会



● COVER

寒さに負けず元気に活動！

12.15 寿大学《モルック大会》

January

1

2023

No.721

金山町民生委員・児童委員を紹介します

皆さんの身近な相談相手となり、行政を始め適切な支援やサービスへの「つなぎ役」としての役割を果たします。お困りのことがありましたら、ぜひお気軽にお声がけください。

※民生委員とは※

地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努めます。

※児童委員とは※

地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談・支援を行います。

※敬称略
()は
担当地区



会長：正野 賢一
(下野明・檜台)



副会長：矢口 勝
(稲沢・宮)



柴田 純一
(十日町)



三上 重光
(下向・柳原・入有屋)



柿崎 彰
(下中田・杉沢)



栗田 一直
(七日町)



星川 美紀子
(羽場)



栗田 正一
(上中田・外沢)



須藤 博子
(田茂沢・蒲沢)



早坂 智恵子
(三枝・荒屋)



松田 国子
(朴山・板橋・長野)



西田 榮次郎
(七日町)



西田 徹
(内町・魚清水)



加藤 三郎
(谷口・飛森)



加藤 清光
(安沢・片貝)



高橋 睦美
(漆野・春木・小蟬)



天口 壮一
(山崎・上台)



岸 弘子
主任児童委員(全町)



西田 道雄
主任児童委員(全町)

広報かねやま

KANEYAMA

January

1

2023
No.721

▼防災情報やイベント情報など、町からの行政情報をLINEで配信しています。



登録はこちらから！

■ も く じ ■ Contents

- P3 ◆民生委員・児童委員を紹介します
- P4 ◆小・中一貫教育の取り組みについて
- P6 ◆町政NEWS
- P8 ◆まちのわだい
- P10 ◆ほっとクリニック・はじめてのBirthDay
防災コラム
- P12 ◆お知らせ掲示板
- P14 ◆図書室だより・集落支援員通信
東京金山会通信・ぶんげい
- P16 ◆神室スキー場に遊びにきてね！

=今月の表紙=



12月15日、寿大学《金山モルック大会》が開催されました。上位入選を目指して、チームごと熾烈な戦いが繰り広げられ、決勝戦は高得点の連発。大いに盛り上がった大会となりました。

町長室から



新年明けましておめでとうございます。12月に断続的な大雪がありましたが、町民の皆さんには穏やかな新年を迎えることと思います。新たな一年の始まりです。古来、私たちは「節目・節目」を大切に考えてきました。この新年正月は一年で最も大きな節目といえるものです。新年にあたり、昨年の振り返りや今年の目標を定めるなど、この時期だからこそ意味があることもあります。

さて、この年末もコロナ感染者数は高止まり傾向にありましたが、行動制限は行われませんでした。気をつけながらも、忘年会などを楽しんだ方も多いと思いますが、燃料費をはじめ、食料品その他の値上げで家計への影響を実感された面もあると思います。12月初旬には、町では生活応援商品券(美杉ちゃん商品券)を配布しましたが、少しでも家計の負担軽減と経済の町内循環につながることを目指したものでした。現在、国内的にはマイナス金利、円安、貿易収支の赤字、賃金の据え置きとまだ負のスパイラルにはまっている状態にあります。ここから脱するには、賃金水準の引き上げが望ましいことですが、果たしてこの春どこまで実施されるのかを注視していきたいと思えます。

一部大手企業では、引き上げを明言する企業も徐々に増えています。また、この時期、町の予算編成作業も本格化しますが、財政健全化を根底に据えながらも、昨年度以上の積極型予算を編成して、少しでも町の活力につながるよう、心がけていきたいと考えております。町が直面する課題も、複雑かつ多様化しています。一朝一夕で解決できるというものはありませんが、それらに果敢に取り組んで、大きな成果として出していきたいと思えます。

佐藤 英司

新しい一年が、町そして町民皆さんにとりまして、平穩で実り多い年となりますことをご祈念いたします。

小・中学校の一貫教育の取り組み

町では、適切な時期に適切な教育（新適時適育）の考えに立ち、子どもたちの発達段階や変化に対応しながら、小・中協働の学びや育ちづくりを推進しています。

秋田県東成瀬小学校・ 中学校をモデルに

令和4年3月に、明安小学校と有屋小学校が金山小学校に統合され、町では、一つの小学校と一つの中学校になりました。統合による一貫教育によって、小・中の段差を少なくし、学力の向上や、いじめ・不登校を少なくしていくこと、そして、金山杉のように、自立し地域や社会へ貢献しようとする子どもたちを育成することが重要になっています。

そのため町では、令和元年度から学力向上の取り組みが全国的に有名な秋田県東成瀬小・中学校をモデルに、研修会等に参加し、どのように一貫教育を進めていくか、検討してきました。東成瀬小・中学校では、小・中の合同授業研究会を行い、小学校と中学校の教職員が授業を参観し合い、授業後の研修会で意見交換することで一貫教育が推し進められたようで、その取り組みが、小学校と中学校の段差

授業後の研究会で 課題を整理しています

合同研究会の授業参観後に、小・中学校の教職員が一緒に振り返りを行いました。授業の良さ、課題と思われること、それに対する改善策などを付箋紙に書いて貼りながら、グループごとの協議を行いました。今回の合同研究会の振り返りとして、「教科書から離れ身近な場面から問題設定をしている」「一人の考えを他の子どもが説明するなどの学び合いの姿がみられる」「意欲的に活動している」「盛り上げない支え合いがありクラスの雰囲気が良い」などの意見が共有されました。

合同研究会には、山形大学の森田智幸准教授にも出席していただき、全体を評価いただきました。森田先生からは、「問題が出たらすぐに取り組んでいる姿、授業開始5分以内に考える場を作っている姿が素晴らしい」と評価されました。

今後の検討課題としては「今

を少なくし、同じ歩調で指導していく体制づくりに繋がっているとのことでした。また、小・中共通の取り組みとして、個に応じた指導・学級集団づくり・家庭との連携・家庭学習の充実・読書活動の推進などに力を入れてきたことで、子どもたちの学力向上が図られているという東成瀬村を参考に、11月に開催した合同授業研究会や、町の一貫教育の取り組みを紹介します。

第一歩となる 小・中合同授業研究会を開催

昨年11月18日に、小・中学校の合同授業研究会が金山小学校で開催されました。

授業は、6年生の算数。単元名は「比例の関係をくわしく調べよう。比例と反比例」です。この単元は、一緒に変わる2つの数量の変化や対応の特徴を考える学習で、小学校算数の中で難しい内容の一つです。これは

まで以上に活動の質を見抜く目が必要」「ICTを活用するべき場面の見極めが必要」「分かっていない人の説明を聞くだけでは、分かるようにはならない。他者が考えている過程を見る・感じるものが大切。なぜそう考えたのかと聞くことができる」といい、「子どもたちの学力向上に向けて、教職員や町関係者が取り組んでいかなければならない事柄を指導していただきました。子どもたちが「分からない」と聞くことができる仲間づくりや場の設定が大切であることを、あらためて学ぶ機会となりました。



▲グループワークで課題を出し合った教職員

関数の考えであり、中学校ではさらに変域が負の数までになり、文字を用いた式や一次関数等に拡張されていきます。

子どもたちは小・中の教職員など約40名以上の参観者に囲まれ、緊張しながらも学習を進めました。学習課題に対する考えとして、コピー機の台数を増やす案・コピーできる枚数を増やす案の2つが出され、グループ協議と自由交流をしながら考えを深めていきました。

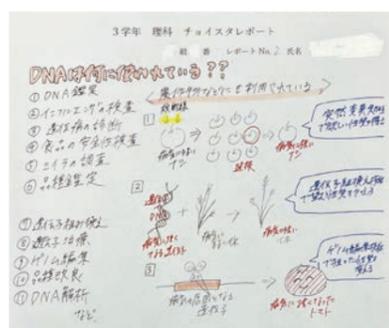


▲自由交流をしながら考えを深める子どもたち

新たな気づきが生まれる 学習を

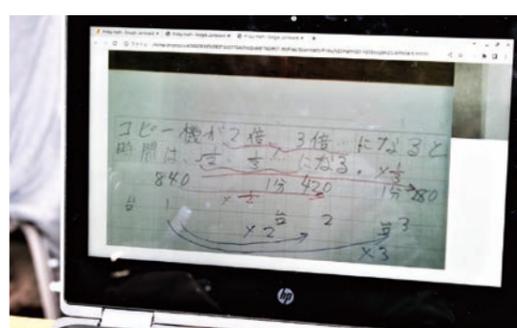
現在、中学校では、学ぶ楽しさを感じさせ、学習計画を調整する力を高めるため、チョイス・スタディ（自由進度学習）を実践しています。左記の写真は、3年理科「DNAはトマトや稲等の農作物にも利用されている」というレポートで、新たな気づきが表現されています。

小学校と中学校の教職員が一体となって共通の授業づくりや家庭学習、児童生徒への対応を実践していくことで、「分かる」と楽しい「学ぶ意味が分かった」「今、どう考えたの」などの声が高まるように取り組んでいきます。



▲チョイス・スタディの作品

授業の学習課題
1分間に25枚印刷できるコピー機で、全国の小学校に配布する広告21,000枚をコピーします。どうすれば、印刷する時間を短くできるでしょう。



▲意見交換ではタブレットも活用

これからの小・中一貫教育と 学力の向上

これからの小・中学校における学力向上として大切にしていかなければならないのは、真の意味で「生きる力」を育むことです。一人一人の児童生徒が、自分の良さや可能性を認識するとともに、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越えること。そして、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められています。

町の小・中一貫教育が目指すものは、これからの変化が激しい時代を主体的に生きる力を育むことです。言い換えれば、金山町教育の基本目標である「未来を切り拓く金山人の育成」そのものです。その取り組みの第一歩として始まった今回の合同授業研究会。子どもたちのため、教職員のため、目的を明確にしながらいずれも取り組みを進めていきます。

最後に阿部千晶実行委員長が「皆さんの気持ちやご意見



役場町民ホールにおいて開催された景観フォーラムには約30名が参加した

11月23日、現在の景観まちづくりの取り組み状況の報告と、町民の皆さんから景観施策に対するご意見を直接いただくことを目的に、景観フォーラムを開催し、「街並み（景観）づくり100年運動の経緯と成果」と題し、金山街並み景観審議会専門委員である、林寛治氏、片山和俊氏から講話をいただきました。

をいただきながら、目的を明確にし、基本を忘れずに良いまちづくりを進めていきたい」と述べました。幅広く町民の方々との意見交換を行っていくため、フォーラムは来年度以降も開催を予定しています。今回いただいた意見を今後の参考とさせていただきますながら、これからの街並み景観づくりにつなげていけるよう努めていきます。

景観フォーラムを開催しました



冬のパノラマを描いた作品

11月19日、石山徹さん（天童市在住）から、実父の石山実氏作の絵画を寄贈いただきました。

絵 画2点を町に寄贈 今後公共施設等に展示予定



11月23日、金山町上下水道工事指定業者の皆さんが、町内の一人暮らし高齢者約190世帯を訪問し、蛇口の無料点検を行いました。これは、これから厳しい冬を迎える前に水道の点検を行い不安なく過ごしてほしいとの思いから始まったもので今年度で5回目になります。

安心して水道を使ってほしいと 蛇口の無料点検を実施

奉仕活動に参加したのは、町内7業者（日本衛生工事(株)新庄営業所、小林水道工事店、(有)永山設備、金山農業協同組合、(株)丸和建设工務店、越尾設備、今田住設）。点検してもらった高齢者は「気になっていたところが無料でみてもらえてありがたい」と感謝していました。

12月12日、グリーンバレースキー場において、今季の安全なスキー場運営のため、安全祈願祭を執り行いました。リフトを降りるとグリーンバレーの美しいロケーションが広がり、緩急のあるコースは初心者から上級者まで楽しむことができます。



神室スキー場関係者や有屋地域区長が参加し安全祈願祭が行われた

神室スキー場営業に向け安全祈願祭 皆さんのご利用をお待ちしています

今シーズンも毎月第2土曜日のスキーズどもの日や毎週金曜日のレディースデー、そしてホテルシェーナスハイム金山に宿泊された方にはスキー場のリフトが割引になるキャンペーンなどお得なイベントを開催予定です。皆さんのご来場をお待ちしております。



爽やかな秋晴れのもと、テープカットなどの開通式が行われた

いに「泉田道路」開通！ 東北中央自動車道がもっと身近に

東北中央自動車道の一部である「泉田道路（8.2km）」が11月20日に開通しました。この開通により、新庄市昭和地区に設けられた新庄真室川IC以南の全線が開通し、高速度道路が首都圏まで繋がりました。泉田道路は片側1車線の無料区間で、双方向に約1キロの追い越し車線があります。冬期間の国道13号の混雑緩和が図られ、往來の利便性・安全性の向上が期待されます。開通日当日は、石井浩郎国土交通副大臣出席のもと、新庄真室川ICで開通式が執り行われ、テープカット・くす玉開披の後、警察車両が先導する形でパレードが行われました。その後、新庄・湯沢地域間高規格幹線道路建設促進同盟会（会長・金山町長）主催による開通記念祝賀会が執り行われ、最上地域が首都圏と直結した歴史的節目となる開通をお祝いしました。

除雪班の安全祈願祭を執行 町道の除雪は任せあれ

除雪班安全祈願祭が12月1日、町除雪センター（朴山）で行われ、除雪隊17名と町関係者がシーズン中の作業の安全を祈願しました。須藤謙班長（檜台）が「除雪作業の重要性を充分認識し、安全で安心な道路環境を確保するため体調管理に留意し、交通規則を遵守し



17名の除雪作業員が、丁寧な除雪を行います

伝統の「山の神勸進」

三枝地区で元気はつらつ

12月4日、三枝地区大又で江戸時代から続く伝統行事、「山の神勸進」が行われました。約40軒の玄関先で、園児から中学生までの男子6人が、五穀豊穡、家内安全を願って伝承の歌を元気に披露しました。参加した子どもの保護者は「子どもたちに地区に住む人と、伝統文化を紹介するいい機会。人数は少なくとも暖かく迎えて協力してくれるので続けていきたい」と話していました。



▲大きな声で元気に歌を唱えた子どもたち

脱炭素化に向けて

NPOかねやま電雪が学習会を企画

12月4日、NPOかねやま電雪が企画した学習交流会が農村環境改善センターを会場に開催されました。「脱炭素化と再エネ・省エネの地域課題」と題し、東北芸術工科大学の三浦秀一先生をお招きし、自然エネルギーの利活用や断熱・省エネを金山町でどう取り組んでいったらよいかなどの講演をいただきました。町でも「ゼロカーボンシティ」を宣言し、温室効果ガスの削減に取り組んでいきます。



▲町議員や関係者約50名が参加して行われた

▼赤ちゃん人形で抱っこを練習する生徒と高橋助産師



命の尊さを学ぶ

乳幼児と生徒のふれあい教室

新庄南高金山校の2年生の生徒を対象に「乳幼児と生徒のふれあい教室」を開催しました。授乳相談室たかはし(新庄市)の高橋優助産師を講師に招き、赤ちゃんの成長過程やパパママになる心得などを学習した後、赤ちゃん人形で抱っこの練習を行いました。妊婦体験ジャケットを着用した男子生徒は「座るのも立つのも字を書くのもお腹が大きくて大変だった。妊婦さんはすごいと思った」と話していました。

▼ジャングルジムでポーズを決める子どもたち



金山杉と職人技術の体験

金山杉サミットを開催

12月3日、第12回金山杉サミット(山形県建築士まちづくり委員会主催)が新庄市エコロジーガーデンを会場に開催されました。参加した子どもたちは、柱に貫を差しそこにさびを打って固定するという伝統工法のジャングルジムの職人たちと一緒に製作し、木の手触りや杉のにおいを楽しんでいました。金山杉の素晴らしさと職人の技術に触れることができた貴重な体験となったようです。



▲三上選手から高橋選手への襷リレー

祝! 丹タカさんが100歳

これからもお元気でお過ごしください

丹タカさん(荒屋)が11月28日に100歳の誕生日を迎えられ、佐藤町長からご本人に賀詞やお祝い金が贈呈されました。タカさんは大正11年生まれ。この日はご家族もお祝いに駆け付け、贈呈されたお花や賀詞を大切に抱え、みずぎ荘職員に声をかけられると嬉しそうに微笑んでいました。これからも健康に留意され長生きしてください。100歳のご長寿、おめでとうございます。



▲家族や職員に囲まれ記念すべき100歳を迎えたタカさん

まちのわだい



身近なわだい、お寄せください。
総務課 広報情報係 ☎29-5601

町内選手が出場

ヤマザワカップ駅伝大会

11月20日、ヤマザワカップ第38回山形県女子駅伝競争大会が開催され、上山-山形間の5区間20.5キロの距離でレースが繰り広げられました。町からは、新庄・最上チームとして、須賀天音さん(山崎)、三上紗代さん(七日町)、高橋灯里さん(三枝)がメンバーに選出されました。惜しくもチーム目標である8位には届きませんでしたが三上選手、高橋選手が力走を見せチームに貢献しました。

▼受賞した松澤さん(写真中央)。おめでとうございます



「つや姫」おいしさの神コンクール

松澤さんがゴールドマイスター

最高においしい「つや姫」を生産する「山形つや姫マイスター」を決める第2回「つや姫」おいしさの神コンクールが11月22日に鶴岡市で開催されました。県内で栽培技術が高く、地域においても指導的な立場である「山形つや姫マイスター」71名の中から県内各地域予選会で代表となった計9名の「つや姫」が審査の対象となり、松澤信矢さん(持越)のお米が見事1位に輝きました。

冬と脳卒中

山形県立中央病院脳神経外科
医師 菅井 努

皆さん、こんにちは。金山診療所で月1回来診療をさせて頂いております山形県立中央病院脳神経外科の菅井と申します。

脳神経外科は主に脳血管障害、脳腫瘍、頭部外傷を中心に診療している診療科ですが、私は脳腫瘍を専門にしています。今回は多くの皆さんが心配しているであろう脳卒中についてお話させて頂きます。脳卒中とは一般的に脳血管障害の急性期のことを言い、「突然起こる脳の病気」という意味です。

脳卒中には最も多い血管が詰まる「脳梗塞」と、脳の中に出血する「脳出血」、脳の表面で髄液が流れているくも膜下腔に出血する「くも膜下出血」があります。

脳卒中発症には季節的な変動があり、冬は脳卒中を起こしやすい時期です。脳卒中の原因は高血圧、糖尿病、高コレステロール血症などの成人病が関係していますが、特に血圧の変動が影響していると考えられています。

冬の特徴はなんと言っても「寒さ」です。寒いと全身の血管は収縮し、血圧が上昇しやすくなります。また、暖房の効いた部屋とトイレや洗面所などの暖房の効いていないところの寒暖差も血圧の急激な変動につながり、脳卒中を起こしやすくなると考えられます。冬は雪が降りますが意外と空気が乾燥していて「隠れ脱水」になりやすいと言われています。体内の水分が失われ脱水状態になると、血圧の変動も合わさり脳梗塞になりやすくなります。

脳卒中は寝たきりや麻痺などの

後遺症を残す可能性もあり認知症の原因にもなります。脳の細胞は再生しないと考えられていますので脳卒中を起こさないように予防することが最善の治療です。血圧の変動、特に急激な血圧上昇を抑えるために自宅内を全体的に暖めることが理想ですが実際には難しいことも多いです。トイレに行くときは一枚上に羽織って行く、脱衣場には小さな暖房機を置くなどの寒さ対策を行い、脱水予防にこまめに水分補給をすることで脳卒中予防がはかれます。当然のことですが降圧剤を内服している方は忘れず内服する、飲酒量を減らす（アルコールは脱水を助長します）、禁煙する（喫煙は血管を収縮させます）ことは予防効果が大きくしっかり実践することが大切です。

皆さん脳卒中を予防し健康に冬を乗り切りましょう。



防災

高めよう自助の力



第18回 町で現在最も死傷者が多い災害「雪害」に注意！

◆毎年発生する雪害

皆さんは、「災害」というと何を連想しますか？災害対策基本法では「災害」を「暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火その他の異常な自然現象又は大規模な火事もしくは爆発：（中略）：により生ずる被害をいう。」と定義しています。

様々な災害がある中で、この時期に必ず耳にするのは「雪による事故（雪害）」です。雪下ろし中の転落事故や軒下での落雪などで、山形県内では令和3年12月から令和4年4月までの間で191名の方が雪害により負傷し、そのうち14名が亡くなっています。また、負傷者のうち65歳以上の

高齢者は113名(58.5%)で、半数以上が高齢者の事故となっています。

金山町では、過去15年間（平成19年度～令和3年度）の雪害事故負傷者数は延べ30人と、各年の積雪の量にもよりますが、平均すると毎年2名ほどの負傷者が発生していることとなります。

◆雪害を防止するために気を付けること

毎年死傷者が発生している雪害ですが、その被害にあわれている方のほとんどは「まさか自分が」と思いながらも、ちょっとした油断や安全対策を怠ったことにより被害にあったケースがほとんどです。

毎年の事ではありますが、以下の点を再確認し、雪による事故に遭わない、遭わせないようにしましょう。

- ① 屋根の雪下ろしは必ず2人以上で行い、ヘルメットや命綱など安全対策をしっかり行いましょう。
- ② 除雪機の安全機構（誤発進防止装置）が必ず作動するようにし、安全機構は固定しないようにしましょう。

安全機構の無効化は非常に危険!!

デッドマンクラッチ機構を固定して無効化すると、除雪機が止まらず、思わぬ重大な事故になります。

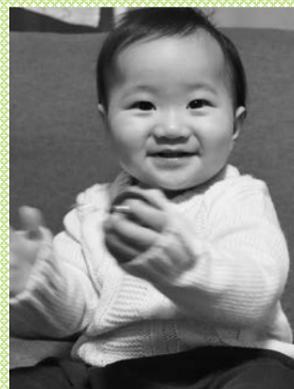
緊急停止クリップ
作業時には必ずクリップを体に付けてください。クリップを体に付けておけば、機械から離れた時に停止させることができます。

緊急停止バー
バーを押すとクラッチが切れ機械が停止します。

緊急停止ボタン
ボタンを押すと機械が停止します。

デッドマンクラッチ機構
手を離すと自動的に除雪機が止まる、大切な安全機構です。器具で固定したり、ひもで縛ったりして無効化するのはやめましょう。
※詳しくは、お使いの除雪機の取扱説明書をご確認ください。

- ③ 除雪機の雪詰まりは必ずエンジン停止し、雪かき棒などで取り除くようにしましょう。
- ④ 除雪時に道路を横断する必要がある、または道路のそばで除雪を行う際は、自動車の往来がないか確認して作業を行いましょう。
- ⑤ 近隣の方との声掛け、あいさつなどを通じて、事故の予防・早期発見に努めましょう。



1.17
柿崎 燈くん（十日町）

【冬日和 灯すは外と 我が家かな】
1歳おめでとう！



1.11
栗田 陽々くん（小樽）

いっぱい食べて、いっぱい寝て、お兄ちゃんに負けないよう、たくましく育ってね！



1.7
小野 永真くん（山崎）

元気にたくましく大きくなってね！産まれてきてくれてありがとう。



1.4
柿崎 眺くん（七日町）

1歳おめでとう！お兄ちゃんと仲良くいっぱい遊んでね！



はじめてのBirthDay！

1月に晴れて1歳の誕生日を迎えられる子どもたちをパパ・ママショットで紹介します。

**山形県立農林大学校
「新規就農研修生」を募集!**

これから農業へ挑戦する新規就農希望者のために、就農に必要な実践技術・基礎的知識を習得する研修を実施します。

▼研修期間 1年間

(令和5年4月～令和6年3月)

▼研修形式 農作業実習と各講義

▼研修先 農業関係試験研究機関、先進農業経営者、農林大学校等

▼受講料 無料(テキスト代、傷害保険、宿泊等の必要経費は自己負担)

▼募集締切 1月27日(金)

〒221-8794
山形県立農林大学校 研修部

愛玩鳥を飼われている方へ

愛玩鳥のうち、鶏、あひる(アイガモ、フランス鴨を含む)、うずら、きじ、ほろほろ鳥、だちょう、七面鳥を1羽でも飼育されている方は、飼育羽数等に関して知事への定期報告が必要です。今まで報告したことがない方は、ご連絡ください。

〒291-1357
最上総合支庁家畜保健衛生課

**新庄税務署から
確定申告会場のお知らせ**

▼開設場所 新庄税務署

▼開設期間 2月9日(木)～3月15日(水)

▼開設時間 午前9時～午後5時
(受付は午後4時まで)

申告書作成会場の混雑緩和のため、**会場の入場には「入場整理券」が必要**です。

入場整理券は、会場で当日配付しますが、配付状況に応じて、後日の来場をお願いすることがあります。LINEを通じてオンラインによる事前発行も可能です(事前発行可能期間が設けられています)。また、申告書作成会場では、ご自身のスマートフォンやタブレットを使用して申告書を作成していただけます。スマートフォン等及びマイナンバーカード(マイナンバーカードの発行時に設定した暗証番号を含む)をお持ちの方は、ご持参ください。税務署では、自宅から確定申告ができるスマホ申告をお勧めしています。

〒221-5113
新庄税務署 個人課税部門

**やまがた縁結びたいによる
結婚相談会の開催**

▼日にち 1月21日(土)

▼時間 午後1時～5時

▼場所 やまがたハッピーサポートセンター最上支所(新庄市)

▼対象 結婚を希望する方・家族

▼申込 1月19日(木)まで

▼費用 無料

〒291-8380
最上支所
やまがたハッピーサポートセンター

**1月6日から2月5日は
雪害事故防止月間です**

▼期間 1月6日(金)～2月5日(日)
雪下ろし中の転落事故が多発しています。**何よりも命を守る事が大切です。**●本当に雪下ろしが必要な積雪が、今一度考える。●慣れているから大丈夫と思わない。●業者への依頼を検討しましょう。

どうしても雪下ろしが必要な場合は万全な体制で!
・ヘルメットの着用
・転落防止の命綱
・動きやすい服装(手袋・ゴム長靴)
・必ず2人以上で行う



〒0231-6301-2230
県防災くらし安心部防災危機管理課

今月の納期

- ◆国民健康保険料 第7期
 - ◆介護保険料 第7期
 - ◆後期高齢者医療保険料 第7期
- 口座振替 1月25日(水)
納期 1月31日(火)まで
忘れずに納付しましょう。

**2023年度分を募集!
「公益信託荘内銀行ふるさと創造基金」**

平成13年に創設された「公益信託荘内銀行ふるさと創造基金」。県内における学校教育、社会教育、文化の振興に関する生涯学習に資するための活動を支援します。



募集締切	2月17日(金) ※事務局必着
助成対象期間 および 助成対象活動	2023年4月1日から2024年3月31日までに行われる ・学校における教育的な活動(学校教育) ・地域住民と一体になった社会教育的な活動(社会教育) ・県内に伝わる文化的な活動(文化活動) 詳細はホームページまたは支店設置のパンフレットをご確認ください。
助成金額	1団体10～40万円(活動の所要額を限度とする)
助成金使途	活動に関する経費(機材費・会場費・消耗品費・旅費・謝礼金等) ただし人件費は対象外
応募方法	Eメールのみ(s-furusatokikin@fidea.co.jp)
応募書類	荘内銀行ふるさと創造基金ホームページからダウンロードしてください



〒023-626-9006
公益信託荘内銀行ふるさと創造基金事務局(荘内銀行広報CSR室内)

広告

広報かねやまに広告を掲載しませんか?

＜広告のサイズと広告料＞

- ・縦42mm×横84mm 広告料(1回) 5,000円
- ・縦42mm×横171mm 広告料(1回) 10,000円

詳しくは担当までお問合せください

お問い合わせ 総務課広報情報係 29-5601

ちょうほう屋かわら版

お客様感謝デー(無料プレゼント)※なくなり次第終了

1月15日(日)だんご 2月1日(日)じゃがいも



電話予約受付中
0233522501
営業時間 9:00～18:00

**令和5・6年度(令和5年度から2年間)
金山町競争入札参加資格審査申請の定期受付について**

令和5・6年度の競争入札参加資格審査申請は、下記のとおり受け付けますのでお知らせします。

- 提出方法 直接持参もしくは郵送(原則郵送対応)
- 提出書類 「申請の手引」をご参照ください(町HPに掲載しています)
※総合政策課に備え付けしているほか、町HPからダウンロードできます。
- 受付期間 令和5年2月1日(水)から2月28日(火)まで
【直接持参】午前8時30分から午後5時まで(土・日・祝日は除く)
【郵便】2月28日(火)消印有効
- 受付場所 金山町役場 総合政策課 財政係
- その他
 - ・「共通様式」も町ホームページからダウンロードできます。
 - ・「建設工事」においては建設業許可がある場合は、必ず「経営事項審査結果通知書」(写)を提出してください。
 - ・押印廃止に伴い、各種提出書類の代表者の押印は不要となります。
※ただし《暴力団排除に関する誓約書》については押印をいただきます。
 - ・令和5・6年度競争入札参加資格審査申請分よりご登録いただいた【事業所名】及び【住所】を公表させていただきます。ご了承ください。

〒29-5604
金山町役場総合政策課 財政係



東京金山会通信 No.45

東京金山会 広報担当 (藤山善夫)
☎080-5525-0435
✉fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

令和5年 新年のご挨拶



会長 高橋 和雄

新年明けましておめでとうございます。東京金山会の会長に就任いたしまして半年が過ぎました。昨年、新型コロナ禍の中で3年ぶりの東京金山会開催では、金山町から佐藤英司町長をはじめ、町議会議員の方々、ご来賓の皆様と多くの参加者の中で開催出来ました事を、金山会役員一同、嬉しく思っております。

これまで着々と続いてきた東京金山会ではありますが、このままで安泰かといえば、決してそうではありません。今までにないアイデアを考え出して、東京金山会と、ふるさと金山町の絆を深めてお役に立てる事はないかと思ひ、7月から月に一度の“かねやま市”を開催しています。少しずつではありますが、実績が上向きになってきました。

本年も引き続き、東京金山会へのご支援・ご協力を賜われれば幸いです。また、金山町出身者との親睦を深めるためにも、知り合いの方がおられましたら、東京金山会事務局まで連絡をいただければと思っております。

令和5年の活動予定



令和4年12月3日(土)、役員会を行いました。令和5年の高橋会長の体制継続、第64回総会の令和5年6月18日(日)開催、総会準備のための役員会日程を確認しました。日程は記載の通りです。総会準備の状況については、あらためてご報告いたします。

- 1月28日(土)：準備に向けた任務分担
- 3月25日(土)：案内状などの作成物確認
- 4月15日(土)：案内物発送
- 6月3日(土)：出席者確認
- 6月17日(土)：開催前日作業
- 6月18日(日)：第64回東京金山会 総会

No.203 「森の子ども図書コーナー」 交流サロンぽすと内



「もうじきたべられるぼく」
(はせがわゆうじ/作
中央公論新社)

「ぼくはうしだからもうじきたべられるのだそうだ…」運命を受け入れた【ぼく】が向かった先は…。【ぼく】の最後の願いとは…。そして【ぼく】が下した決断は…。
ぼくがまだちいさかったころ、やさしく包みこんでくれたお母さん。お母さんに会いたい。一度でいいからうまのように草原をのびのびと走り回ってみたいかったな。おなじ動物なのにだれにも知られずに食べられるのか…。この物語は、いただきますの向こうの物語。ありがとうを食べて人は成長していく。あなたは何を感じるでしょうか。【ぼく】のように、すべてを受け入れられるでしょうか。



※()内作者名

今月は2冊!

君のクイズ (小川哲)

月の立つ林で (青山美智子)

「図書室だより」

中央公民館内 9:00 ▶ 16:00



「宙ごはん」
(町田そのこ/小学館)

宙(そら)には育ててくれている「ママ」と産んでくれた「お母さん」がいる。時に厳しく、愛情たっぷり育ててくれたママ、子供っぽいキレイなお母さん。二人の母親がいるのは宙にとつてすごく幸せなことだった。家族とは、母親とは、愛情とはなんなのか。宙は成長しながらいろいろなことを学んでいく。



「100万回死んだねい」
— 覚え違いタイトル集 —
(福井県立図書館/講談社)

「下町のロボット」→「下町ロボット」→「その辺の石」→「路傍の石」本の正確なタイトルは、なかなか覚えづらいものは、なかなか覚えづらいもの。そしてうっかり間違えて覚えてタイトルを文字通りに想像してみたら、とんでもなくシニールでもおもしろすぎる事態になっていた。「覚え違い」を文字通りに表したイラストを添付。クイズ感覚で楽しめる一冊。

～図書貸し出しについて～
暖かい部屋で、本の世界に浸ってみてはいかがでしょうか。教育委員会前の廊下に図書の一部をご用意しております。お気軽にお立ち寄りください。 ☎52-2902



金山町
集落支援員

集落支援員
栗田 伸一

続・モルック

先日山形新聞に山形県モルック協会会長、高窪さんのコメントが掲載されていました。その内容は、ここ数年のモルックの盛り上がりは伝わってくる楽しいものでした。実は山形県は全国で4番目に協会を立ち上げたモルック先進地でもあり、県内あちこちで多くのモルック大会が開催されています。
我が町でも、この1、2年でモルックを知る人が増えてきました。集落支援員がモルックを片手に町内各地に顔を出し、200人以上の町民の皆さんとモルック棒を投げ合った成果なのかもしれません。おかげさまで今年度に入っても「モルック」という言葉はあちこちで聞こえてきます。(私の周囲だけでも聞こえてきます。せつかくの盛り上がりです。で、流行が定着するまで、もう少し後押しをさせていただきたいと考えています。



地区公民館でのモルックの様子

れ、皆さんの町内移動を便利にしてくれる交通機関となっています。
冬のモルック教室が、今後のデマンドハイヤーの利用や、改善センターの利用促進に繋がることも期待してまいります。また、いくつかの地区公民館でのモルック教室も行っていきますが、こちらも並行して進めていきたいと考えています。地区公民館で行える地区は、地区公民館でモルック棒を投げる、改善センターで行える方々は改善センターに集まってモルック棒を投げる、そんなスタイルをイメージしています。
私も様々な研修に参加し、講師も経験しながら、モルックの新しい楽しみ方を学ばせていただきました。そもそもモルックって何?という方にもその面白さが届くよう、まだまだ盛り上げて参りますので、この冬ももう少しモルックにお付き合いください。



Facebookの活動を発信しています!ぜひチェックしてください。

ぶんげい

金山杉俳句会報 第四七〇回

星川 キエ子
古寺の上り 檻に濃竜胆
枯木山小砂利の道を借景に

岸 あき子
鶴鶴の長き尾を振り砂走る
錦木に袖触れ合ひて溢れ落ち

高橋 洋子
霜降の音なす風に舞ふ落葉
秋の庭とばけ咲きする九輪草

鵜沼 よし子
新蕎麦の器用に箸で異邦人
微笑返へし遺影に手を振る菊日和

阿部 一代
役終えし冬田広々風走る
鉄瓶のお湯恋しくて炭さがす

栗田 弥超
言葉少なに別れし後の落し文
暖房の誘ひに開くウツボ草

かねやま紅風会

荒屋 阿部 勝子
新米や食の幸せ噛みしめる
或りし日の思い出しのお秋日より
新米を載せて都に初出荷

荒屋 関 喜美子
浮きて立つ冬日に映へる出羽の富士
高速の怖さ恐れる雪の事故
茶山花の紅き花びら散り染めし

菅越 庄司 けみ子
暮早し師走夕餉の味覚鍋
散紅葉下駄に張りつく落葉かな
サッカー戦勝負の世界年暮れる

七日町 青柳 キエ子
飯坂の日暮は早し紅葉山
えり足の湯の街芸娘花の宿
小六月名物みやげの品さだめ

七日町 柴田 栖静
文化の日そへて祝うや華道展
夕映への暮れる冬田の美しき
散る紅葉秋の夕日を借しみけり

上台 阿部 一步
老一ツ歳を重ねる十二月
濡れて尚孫の元気な雪遊び
老夫婦言葉少なく冬炬燵

**KAMUROで
ワッショイ!!
ワッショイ!!**

仲間とワッショイ! / ゲレンデが目の前! / 宿泊スキーでワッショイ!

インターネット予約はこちらから
<https://schonesheim.jp>

Schönes Heim KANEYAMA
ホテルシェーネスハイム金山

**Green Valley
KAMURO**

グリーンバレー神室スキー場
グリーンバレー神室管理センター 〒999-5401 山形県最上郡金山町大字有屋 1400
お問い合わせ tel.0233-52-2240

雪遊びでワッショイ!

雪キャンでワッショイ!

雪楽しくてワッショイ!

山形県金山町

祝祭日には
を掲げましょう

編集後記

▼明けましておめでとうございます。1年があつという間だなと感じるので調べてみました。この感覚は「ジャーナーの法則」と言われるもので諸説はいろいろありますが、新しい経験の不足、さらに未来への期待感が低下していることが要因として考えられるとありました。今年は卯年です。うさぎの飛び姿から「飛躍・向上」が象徴され、新しいことに挑戦するのに最適な年といわれているそうです。ただただ日々を過ごすのではなく、小さなことでも挑戦して刺激たっぷり、思い出たっぷりの年にしたいですね。皆さん今年もよろしくお願ひつねね。

金山町の人口は、4,997人 (11月末現在)

男性	2,463人 (-2)	11月の異動	
女性	2,534人 (-10)	出生	1人
世帯数	1,712世帯	死亡	8人
		転入	3人
		転出	8人